

(2) 登園届(保護者が記入してもよい感染症)

| 病名 | 病状の特徴及び経過 | 登園基準 |
|-------------------|---|---|
| 突発性発疹 | 突然の発熱が3～4日続く 熱が下がると同時に小斑点状発疹が出現 | 解熱後1日以上経過し全身状態がよいこと生後6カ月～24カ月の子が感染することが多い |
| 溶連菌感染症 | (上気道感染) 発熱、のどの発赤、腫れ、痛み (猩紅熱) 発熱、扁桃炎 莓状舌、発疹 2～5日 | 抗菌薬内服後24～48時間を経過していること。ただし治療の継続は必要。 |
| ウイルス性肝炎 (A型肝炎) | 発熱、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、下痢、おう吐、腹痛 3～4日後に黄だん | 肝機能が正常になってから。 |
| 手足口病 | 発熱、口腔内の痛みを伴う水疱 手、足脚部の水疱性丘疹 | 発熱がなく(解熱後1日以上経過し) 普段の食事ができること。 流行阻止を狙っての当園停止はウイルスの排出期間も長く現実的でない。 |
| ヘルパンギーナ | 発熱、のどの痛み、まれに頭痛、筋肉痛、発疹 | 発熱がなく(解熱後1日以上経過し) 普段の食事ができること。 |
| 伝染性紅斑 (りんご病) | かぜ様症状と顔面の紅斑、四肢伸側にレース状の紅斑 | 発疹が出現した頃には、すでに感染力は消失しているので、全身症状が良いこと。 |
| 伝染性膿痂疹 (とびひ) | 紅斑、水疱、びらん、皮が厚いかさぶた | かさぶたでも感染皮疹が乾燥しているか湿潤部位が被覆できる程度のものであること。 |

